

阿寒バス株式会社

サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025年10月1日

株式会社北洋銀行
釧路中央支店

1. 基本情報

| | | |
|------|--|---|
| 企業名 | 阿寒バス株式会社 | |
| 代表者名 | 代表取締役 香川 真廣 | |
| 所在地 | <ul style="list-style-type: none">本社営業所 釧路市愛國191番地208釧路駅前案内所 釧路市末広町14丁目1番2号釧路空港案内所 釧路市鶴丘2番地(釧路空港ビル内)阿寒湖案内所 釧路市阿寒町阿寒湖温泉3丁目4番5号摩周営業所 川上郡弟子屈町中央1丁目8番27号美幌営業所 網走郡美幌町栄町4丁目8番地の5標津営業所 標津郡標津町北3条西1丁目1番地3羅臼営業所 目梨郡羅臼町栄町100番地78中標津案内所 標津郡中標津町東2条南3丁目1番地 | |
| 資本金 | 74百万円 | |
| 従業員 | 149名 (2025年9月現在) | |
| 業種 | 旅客自動車運送業 | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">一般乗合旅客自動車運送事業一般貸切旅客自動車運送事業自動車整備事業 | |
| 沿革 | 1953年 1970年 1993年 2018年 | 東邦交通(現・くしろバス)から分社化して設立 東北海道貸切バス協組発足、加盟 本社を現在地に移転 サンライズ旭川釧路号、釧路～北見間の随時運行を開始 バスロケーションシステムを導入 電子マネー・WAONによる運賃決済サービス導入 |

2. 経営方針

業務運行方針

「安全はすべてに優先」「法令や規則を遵守」「推測に頼らず、必ず確認」を 安全方針に掲げ、安心安全な運行品質保持に取り組んでいる。社員一丸となって輸送の安全性 および利便性の向上に努めている。

3. 事業概要

阿寒バス株式会社は釧路市愛国に本社を置くバス運行事業者である。釧路市のほか、阿寒湖温泉、弟子屈町、美幌町、標津町、中標津町、羅臼町にも営業所等を置き、ひがし北海道一円に路線網を展開している。

事業内容は、地域住民の生活路線である「定期路線バス」(保有台数: 59 台)のほか、「ガイド付観光バス」「都市間高速バス」「空港連絡バス」を運行する一般乗合旅客自動車運送事業、「観光貸切バス」を運行する一般貸切旅客自動車運送事業(保有台数: 19 台)のほか、自社で整備工場を保有しており自動車整備事業(釧路・美幌・標津)を行う。

定期路線バスについては、57 系統を運行し地域の生活交通を担っている。

■ 当社が運航する路線バスと観光バス



出所：阿寒バス提供資料

都市間高速バスは、札幌～釧路間「スタークライス釧路号」や、旭川～北見～釧路間「サンライズ号」などを運行している。空港連絡バスは、釧路市内 ⇄ たんちょう釧路空港 ⇄ 阿寒湖温泉間を結び、観光客や地域住民の往来を支えている。

ガイド付観光バスでは、30 年ほど続いている「ピリカ号」をはじめ「釧路知床号」「知床釧路号」など季節によって異なる運行ルートを展開し、ひがし北海道を訪れる観光客の人気を博している。

■ ひがし北海道の観光名所



出所：阿寒バス提供資料

阿寒バス株式会社は、働きやすい職場環境の整備に努めており、仕事と子育ての両立支援や働き方の見直しに積極的に取り組むとともに、社員の資格取得を支援し、職場環境の整備を行うことで利用客のサービス向上を目指している。

また道東地区一円に事業展開する当社の使命として“ひがし北海道”への貢献を掲げており、地域における自然・食などの魅力を SNS やデジタルサイネージなどを活用し発信している。2025 年 8 月には、当社が先導して取組を行っている「ひがし北海道・交通事業者がつなぐエリアまるごと観光 DX」が経済産業大臣賞を受賞。地域全体のコミュニティ形成に繋げており、持続可能な観光および地域活性化への貢献活動を行っている。

4. サステナビリティ目標

阿寒バス株式会社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、阿寒バス株式会社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、阿寒バス株式会社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

| 重 要 課 題 | 脱炭素社会実現への貢献 |
|-------------|--|
| 目 標 ・ K P I | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 関連する SDGs | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>7 アクセスをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> </div> |

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

| 重 要 課 題 | 人的資本経営の推進 |
|-------------|--|
| 目 標 ・ K P I | 役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる |
| 関連する SDGs | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> </div> |

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。